

## 令和6年度三田市高校生議会 質 問 書

**【質 問 者】** 1 1 番 三田松聖高等学校 2年 村西 孝太郎（むらにしこうたろう）

**【担 当 課】** 都市整備部 交通政策課

**【答弁予定者】** 都市整備部長

**【質問事項】** 高齢者の自由な移動によるまちの魅力向上について

### **【質問内容】**

1 1 番 高校生議員の三田松聖高等学校2年の村西 孝太郎です。

私からは三田市に新しい交通移動手段を増やすことについて質問します。

少子高齢化の時代に入り、高齢者が孤立する問題が挙げられており、三田市においても同様の課題が挙げられているのではないかと考えます。また、三田市北部などの人口が少ない地域ではそれが顕著に表れていると思います。原因の一つに、公共交通機関の赤字や運転手不足などの理由による、路線の廃止があり、このために高齢者の自由な移動が困難になっていることから、三田市に新しい交通移動手段を導入し、高齢者の自由な移動ができるような街になれば良いと考えています。

今の三田市は、市が実施主体となりコミュニティバスを導入している地域があるものの、利用客が少ないという課題があり、その原因の一つに、運賃やバスの本数が関係していると考えます。

その問題を解決するためには、予算増加によるコミュニティバスの機能

強化が必要だと考えました。そこで私は市の予算における福祉に対する予算を増額し、コミュニティーバス等の運賃減額や運行本数の増加を行うことを提案したいと思います。

これらの提案が実現することによって、高齢者の移動がスムーズになり、街へ出る回数が増え、地域での引きこもりなど、孤立する高齢者の割合が減少することや、多世代との交流が増え、一人暮らしの孤独や寂しさから解放されて、生き生きとした生活を送ることができるようになると思います。若い世代との交流が増えることで、古き良き伝統文化の継承にもつながり、三田市がより発展すると同時に、若い世代の定住も見込めるのではないかと考えます。

このことについて、市の考えをお聞かせください。

---

### 【答 弁 内 容】

私からは議員ご質問の「高齢者の自由な移動によるまちの魅力向上」についてお答えします。

高齢化の急速な進展は高齢者の生活に様々な影響を及ぼしており、自由な移動が制限されることは、運動不足に加え、交流機会や外出頻度が少なくなり、様々な事への意欲が薄れるフレイルなどの課題もあることから、市としても高齢者の方を始めとする市民の誰もが気軽に移動できるまちを目指して様々な施策や支援を推進しています。

移動に対する支援策として、鉄道やバス等による移動サービスの提供が困難な地域では、市が事業主体となり公共交通を補完、連携できる自家用有償旅

客運送の手法を使い、地域の皆様と一緒に移動ニーズの把握や試験運行を重ね、運行本数や時間、運賃などを設定し運行しております。地域内交通という新たな移動手段による生活スタイルの変更等から、利用数は少ないスタートではありましたが、3年を経過し年々増加している状況にあります。このため、地域内交通が地域の日常生活に根付いた移動手段となるよう、まずは周知・啓発に努めたいと思います。その上で、利用状況やニーズの変化にも対応した運行となるよう、地域の方々と検証し必要となる増便や運賃等の見直しを適時行ってまいります。

地域の皆様と一緒にになり、高齢者に限らず多くの方が利用される地域内交通を作ることは、フレイル予防や多世代間の交流を創出し地域活力にも繋がると考えておりますので、ご理解の程よろしく申し上げます。